

2019年10月17日

「都市の緑3表彰」の受賞者決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二)が特別協賛する「都市の緑3表彰」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

1. 第30回「緑の環境プラン大賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成、環境保全の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプラン実現のために緑化整備費を助成するものです。

2. 第39回「緑の都市賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構)

緑豊かな都市づくりの推進を目的に、緑を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰するものです。

3. 第18回「屋上・壁面緑化技術コンクール」

(主催:公益財団法人都市緑化機構)

都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている団体、個人等を表彰するものです。

当社は、DSR¹経営の一環として、「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を社会貢献の中心取組テーマに掲げ社会課題の解決に取り組んでいます。当賞は、「環境の保全」の観点から、都市緑化や景観の向上、地域社会の活性化、それらを通じたコミュニティの醸成等を促進しようと、長年にわたって取り組んでいる社会貢献事業です。

(別紙1)第30回「緑の環境プラン大賞」審査結果

(別紙2)第39回「緑の都市賞」審査結果

(別紙3)第18回「屋上・壁面緑化技術コンクール」審査結果

第30回 緑の環境プラン大賞 審査結果

全国から、シンボル・ガーデン部門 19 点、ポケット・ガーデン部門 33 点、特別企画「おもてなしの庭」4 点、計 56 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。



■シンボル・ガーデン部門(助成額上限:800万円/点)

地域のシンボリックな緑地として、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するプラン



■ポケット・ガーデン部門(助成額上限:100万円/点)

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するプラン

◎国土交通大臣賞 <2点>


部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	藝大上野キャンパス 上野と谷根千をつなぐみちひろば (東京都台東区)	国立大学法人 東京藝術大学 キャンパスグランド デザイン推進室	上野公園と谷根千エリアをつなぐ通りに、誰もが歩いて楽しい「みちひろば」をつくる。四季折々の表情を見せる花木により、キャンパスの境界をやわらかな親しみのあるものへと改善し、景観向上とともに道路際に休憩スペースを設け地域を結ぶ空間づくりを行う。	
ポケット・ガーデン	地域の文化遺産の庭園を活用した交流と体験の広場 (茨城県つくば市)	特定非営利活動法人 ヤナカノモリ “矢中の杜”の 守り人	国登録有形文化財「矢中の杜」の庭園の一部を整備し、地域住民や地元の子供たち、観光客などが緑に囲まれた空間で交流し、草花や土、木に触れながら楽しく様々な体験ができる広場を作ることを目的とする。	

◎緑化大賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	青山通り 緑のおもてなし 風景街道 (東京都渋谷区・港区)	特定非営利活動法人 渋谷・青山 景観整備機構	青山通りが世界に誇れる美しい街路空間となることを目指し、街路の植込みを中心に、宿根草やグラスを組み合わせた統一したデザインの植栽を施す。魅力的な緑化景観をつくるとともに、そのメンテナンスを地元住民や企業社員のボランティアが担うことで、地域づくりに取組む。	
	みなが出会い・育み・共に生きる 「みのりの緑地」 (兵庫県神戸市)	特定非営利活動法人 こども コミュニティケア	保育園、障がい児デイサービス、介護施設が共存する区画に「みのりの森」をテーマにした緑化空間を創出する。多様な人々が共有できる緑空間をちりばめ、“みのりの回廊”として結ぶ。地域の方々との協働管理を通じ、障がいや疾病の人々が共に生きる地域社会づくりにとくむ。	


◎コミュニティ大賞 <9点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケットガーデン	樹齢140年 江南の藤・藤棚リフレッシュプロジェクト (埼玉県熊谷市)	江南の藤保存会	樹齢 140 年の県内最大級の藤を支える藤棚は、老朽化が進み、525 m ² にも広がった枝の剪定作業などに危険を感じる状態になっている。この貴重な江南の藤保存に不可欠な棚の改修工事を、自然の多様性啓発に結びつけ、市民に広報・公開していくのが今回の事業。	
	かしわ・みんなの杜 (千葉県柏市)	社会福祉法人 ぶる一む	道路拡幅工事により喪失した林縁・林床植生の復元を図るとともに、障がいをもった子供を含むすべての地域の子供たちや住民に森を楽しんでもらえるよう、五感で楽しめる計画としている。また、密集住宅地内に唯一残存する森林として在来種のみを植栽し、地域の生態系に配慮した計画としている。	
	海辺の森 花咲く小路 プロジェクト (新潟県新潟市)	NPO法人森の会	海辺の森は、120ha という広大な保安林内に総延長 8.4 kmの遊歩道がある。拠点となるキャンプ場内の単調な遊歩道沿に四季を彩る花壇を整備し、地域住民はもとより、訪れる観光客・キャンパーに「来る人に感動を！ 去る人に幸せを！」をフレーズとした花咲く森をつくる。	
	エリア3プロジェクト ～みんなで育み 集う場所～ (静岡県牧之原市)	川崎絆づくり	「みんなで育む場所」をコンセプトに、空き地を利用し、季節の草花が咲く「彩の庭」、心地よい香りで癒され楽しむ「かおりの小路」、芝生の上で寝転んだり絵本を読んだり、マルシェを開いたり、いろいろに楽しむことができる「賑わいみどりの広場」を、作業ごとに多くの人の参加を得ながらつくっていく。	
	花と緑で繋がる テラス シゲトシ 「重利の里山公園」 (京都府亀岡市)	シゲトシ 重利の山を守る会	住宅近辺の人工林を住民が自ら間伐し、山全体を公園化する目的で整備している。今回は、山の入り口部分を花と緑のテラスにして、季節の花に囲まれたオープンカフェを開催し、地域のお年寄りから子供まで、誰もが気軽に集え元気になれるコミュニティの場をしたい。	
	食と植のまちなわ (大阪府柏原市)	大正通り商店街 サポーターズ	商店街の中心に位置する空き家が、広場をとまなう複合施設に再生される。その広場の一部を無償で借り受け、食べられる植物・加工できる植物を含む緑を整備し、子供たちと近隣住民・商店主が交流・食育・ものづくりを行い、地域と親しむ場所とする。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	世界文化遺産 姫路城 中曲輪 バタフライガーデン 創造事業 (兵庫県姫路市)	兵庫県 姫路市立 ハクロ 白鷺小中学校	学校と地域の協働で、姫路城の眼前に400年前のジャコウアゲハの飛び交っていた風景を再現する。名称を『中曲輪バタフライガーデン』とし、地域はもとより、姫路市とも協力して年間200万人の観光客を対象に、蝶の生態観察の行える新たな体験型の観光スポットを創造し、地域活性化につなげる。	
	花と緑で 人とまちをつなぐ、 保育園とつくる公園 (福岡県福岡市)	フルコガラス 古小烏公園 愛護会	コンクリートを剥がし、緑の面積を増やすことで全体を明るい雰囲気にするとともに、ヒートアイランド現象の緩和効果も期待している。また、行政・保育園・地域と協力し、誰でも参加できることを大切にする。花だけでなく、小さな畑や果樹園をつくり、地域の子供たちと学びあえる環境を作る。	
	身近な自然に触れ 道行く人と鳥や虫が 憩う花と緑の広場 (沖縄県沖縄市)	社会福祉法人 愛の泉保育園	「花のようにやさしい子を育てる」(花を通してやさしい心を育てたい)という理念のもとに、園内外を県産の草花で彩り、自然に親しみながら季節の魅力や変化を楽しめる園庭整備を行う。また、みどりを通じて、子供たちや道行く人々の笑顔を誘い、良質な保育環境の創出及び地域との交流を目指す。	

○特別企画「おもてなしの庭」大賞 <1点> (助成額上限:2,020万円)


東京都が2014年12月に公表した「東京都長期ビジョン～『世界一の都市・東京』の実現を目指して～」の中で、2020年の東京の姿として、おもてなしの精神が全世界に発信されていることを目指していることにちなみ、東京都内の花と緑で観光客を迎える優れた緑化プランに対し、整備費を助成するものです。

作品名(場所)	受賞者名	概要	
匠の庭師が 日本庭園文化を 世界に発信 (東京都港区)	一般社団法人 日本造園組合 連合会	多くの観光客が訪れる芝公園に日本庭園の伝統の技と江戸園芸文化を気軽に鑑賞・体験できるおもてなしの庭を創出する。2020年東京オリンピック・パラリンピック時には、庭技のパフォーマンスや竹の花火の飾りで国内外のお客様をもてなし、はなやいだ雰囲気を演出する。庭園文化や技術の発信とともに、その伝承を目指す。	




第 39 回 緑の都市賞 審査結果

全国から、緑の市民協働部門 27 点、緑の事業活動部門9点、緑のまちづくり部門3点、計 39 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。(副賞:「緑の市民協働部門」のみ5~20 万円)

◎内閣総理大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	子どもたちが学ぶ 北の里山づくり (北海道札幌市)	特定非営利 活動法人 北海道森林 ボランティア協会	地域社会と次世代の子ども達のために、都市環境林の整備及び子どもたちへの体験環境学習をボランティアで実践している。森林管理の専門家の指導を仰ぎながら整備計画を作成し、行政施策との連携も適切に図られており、札幌市の豊かな都市環境づくりに貢献している。	


◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	吉野山の 桜保全活動 (奈良県吉野町)	大和ハウス工業 株式会社/ 公益財団法人 吉野山保勝会	古来より、日本を代表する桜の名所であり、1300 年以上続く吉野の桜を維持し、将来に継承することを目的として、吉野山保勝会、教育委員会、大和ハウス工業が一体となって連携し、桜の保全活動に取り組んでいる。また、桜の保全と共に文化・伝統といった和の心を次代に繋ぐためのイベントを全国で開催している。	
緑の事業活動部門	江古田の杜 プロジェクト (東京都中野区)	江古田の杜リブ インラボ協議会/ 積水ハウス 株式会社/ 独立行政法人 都市再生機構/ 医療法人財団健貢 会総合東京病院	守り、受け継がれてきた江古田の森に隣接する地として展開するプロジェクト。「緑」を地域の共有の財産として、暮らしに潤いと安らぎを与える資源として「活用」していくために、このまちに住む人・働く人によってエリアマネジメント組織を組成し、緑の維持管理やイベント活動に取り組む。	
緑のまちづくり部門	花と緑の まちづくり事業 (長野県須坂市)	須坂市	美しい風景を共有し歴史的遺産を生かした情緒豊かな文化都市を目指し、ボランティアグループによる駅前ロータリー等の花壇整備や緑化意識高揚のための「花のまちづくりコンクール」などを開催し、市内にオープンガーデンや平和の花「カンナ」の植栽が広まる等、市民を中心としたまちづくりを展開している。	

◎都市緑化機構会長賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の 市民協働 部門	市民協働 「熊谷の力」 小江川地区 1000 本 桜事業 (埼玉県熊谷市)	市民協働 「熊谷の力」 小江川地区 1000 本桜事業 事務局	40 年以上放置され荒れた里山の改善を 2009 年、市の市民提案制度で採択されたのが事業の始まり。5.2 kmの桜並木と総延長 12km のサクラロードが完成した。200 年前の石碑の発見、整備、ホタルも 40 年振りに復活、大鷹が移り住む環境となり、今では市民の憩いの場となった。	
緑の 市民協働 部門	大塚バラロード (東京都豊島区)	南大塚 都電沿線協議会	街の中心を通る都電荒川線沿線で、悪化した景観や治安の改善を目的に近隣住民による環境整備が始まり、かつて植えられていた 100 本のバラを活かした取り組み。新たな植樹により現在 790 種 1190 株のバラが咲くバラロードとなり様々な地域イベントが開催されている。	
緑の 事業活動 部門	生物多様性に 配慮した緑地づくり (岩手県雫石町)	盛岡セイコー工業 株式会社/ セイコーインスツル 株式会社	『雫石』の自然環境の恩恵を受け、事業と環境との共存を常に意識し、工場緑地の質を高める改善や適正な維持管理を行った結果、里山の様な緑地への変化と確実な生物多様性の向上が見られ、魅力を増した緑地で社内や地域とのコミュニケーション向上に繋げている。	



◎奨励賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の 市民協働 部門	目田川モデル 河川づくり (滋賀県守山市)	認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷	赤野井湾周辺の水環境改善を掲げ、ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現、琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現を目指し取り組みをはじめ、環境教育の場の提供や守山ほたるパーク&ウオークのホタル飛翔地として多くの人々が楽しめる場所となっている。	



第 18 回 屋上・壁面緑化技術コンクール 審査結果

全国から、屋上緑化部門 11 点、壁面・特殊緑化部門4点、特定テーマ部門3点、計 18 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。



◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	赤坂インターシティAIR (東京都港区)	日鉄興和不動産株式会社/ 株式会社日本設計/ 株式会社大林組/ 株式会社日比谷アメニス	本作品は東京赤坂の超高層複合ビルの緑化である。敷地東側には、土地の価値の継承、再生を狙い、江戸の水源であった溜池のほとりを再生した。圧倒的な緑量感を確保するため、自然樹林の調和する姿に倣った植栽・維持管理手法を試みている。	
壁面・特殊緑化部門	横浜北線・岸谷生麦線高架下 麒麟緑地 (神奈川県横浜市)	麒麟麦酒株式会社横浜工場/ 横浜市/ 首都高速道路株式会社/ 内山緑地建設株式会社	本作品は横浜市初の敷地外緑地制度を利用した道路高架橋下の緑化である。低照度環境下で生育可能で様々なテクスチャーを持つ耐陰性植物を導入し、薄暗くなりがちな空間イメージを払拭した。明るく彩られた緑豊かな空間は多くの方に楽しまれている。	



◎環境大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	江東区立有明西学園 (東京都江東区)	株式会社竹中工務店/ 株式会社久米設計/ 江東区/ 株式会社スタジオテラ/ 東光園緑化株式会社	本作品は臨海部に位置する義務教育学校の緑化である。地場産業である木材を活かした耐火木構造建築の屋上に、海岸立地に配慮した植栽、ヒートアップや学校菜園を配した。雨水を樽に貯め、学校菜園の水やりに利用するなど、環境教育の促進を目指している。	
壁面・特殊緑化部門	都電荒川線 無灌漑型 軌道緑化 (荒川車庫前停留場付近) (東京都荒川区)	株式会社トーケン/ 小松マテーレ株式会社/ 未来緑化株式会社	本作品は無灌漑型軌道緑化である。クッション材を工夫・改良し、砕石上に直接、設置可能な緑化基盤となっている。4種混合セダム、単植メキシコマンネングサを植栽し、無灌漑水対応に加え、保守作業時の軽減化と維持管理の簡略化を可能にした。	


◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	三鷹中央 防災公園・ 元気創造プラザ (東京都三鷹市)	三鷹市/ 独立行政法人 都市再生機構/ 株式会社日本設計	本作品は公園敷地内の人工地盤上緑化である。防災公園として成立させるため、地下運動施設自体の各種構造を組合せ、植栽基盤・車輛通行の荷重支持を可能にした。日常時は市民の憩いの場、災害時は周辺住民の避難場所となる公園を実現した。	
特定テーマ部門	UEC Hydroponic Farm (東京都調布市)	国立大学法人 電気通信大学 佐藤証研究室	本作品は屋上に設置した水耕栽培システムである。土地の限られた都市に農を広げるための実験施設として、イベントや学生への課外授業を行っている。IoT 技術を活用した無農薬栽培で、地元の小学校や病院、都内の複数の商業施設に導入されている。	

◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	東京ミッドタウン 日比谷 (東京都千代田区)	鹿島建設株式会社 一級建築士事務所/ 株式会社ランドスケープ デザイン	本作品は官民一体の都心型大規模複合開発プロジェクトの緑化である。「People in the Park」のもと、日比谷公園への眺望、緑のつながりを最大限に活かした環境づくり、街の魅力づけを实践。計画初期から緻密な風向シミュレーションを行い、様々な対策を講じている。	 @FOTOTECA
屋上緑化部門	長崎県庁舎 行政棟屋上緑化 (長崎県長崎市)	長崎県/ 日建・松林・池田特定建設関連業務委託共同体/ 鹿島・上滝・堀内特定建設工事共同企業体/ 箱根植木株式会社	本作品は県庁舎行政棟2階レベルのテラス緑化である。テラスに面して開放性の高い食堂や売店を配したパブリックスペースとして計画した海岸性の地域性種苗の採用、コンピュータシミュレーションによる植栽配置の最適化により、長崎らしい海岸の丘の風景を再現した。	

◎奨励賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
特定テーマ部門	グリーン カーテン共同 育成活動 (愛知県常滑市)	中部国際空港株式会社/ 愛知県立 半田農業高等学校	本作品は 2012 年度より開始した、第1ターミナルビルにおけるグリーンカーテン共同育成活動である。地元農業高校が挿木繁殖したパッションフルーツを活用し、環境配慮、夏場の日射し対策、癒し空間の演出に貢献している。各種メディアにて、産学連携・地産地消のモデルとして取り上げられた。	

以上